



# **MORI SEIKI**

## **THE MACHINE TOOL COMPANY**

# **2005年3月期 決算説明資料**

**2005年5月9日**

本資料には将来の業績見通し及び事業計画等に関する記述が含まれております。  
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しております。  
従いまして、実際の業績は、様々な要素により、これらの業績見通しとは異なるリスクや不確実性があることをご承知おき下さい。



# 1. 2005年3月期 決算概要

需要は力強い動き 大幅増収増益

- 過去最高売上高達成
- 売上高 前期比 39.5%増収
- 営業利益 前期比 4.4倍
- 底堅い受注環境
- 各経営指標改善



# 大幅増収増益の実績

## 業績Summary(連結ベース)

(百万円)	2004年3月期	2005年3月期		
	通期実績	通期実績	前期比	前期比率
売上高	87,557	122,166	34,609	39.5%増
営業利益	2,401	10,517	8,116	4.4倍
(売上高比率)	2.7%	8.6%	-	-
経常利益	1,850	10,504	8,654	5.7倍
(売上高比率)	2.1%	8.6%	-	-
税引前利益	821	10,004	9,183	12.2倍
当期利益	712	9,381	8,669	13.2倍
(換算レート 1US\$=)	(¥112.73)	(¥107.58)		
(1EURO=)	(¥132.57)	(¥135.68)		

# 四半期毎に収益改善は加速中

(連結業績・各四半期毎)

(百万円)	2005年3月期				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期実績
売上高	21,790	31,521	32,415	36,440	122,166
営業利益	704	2,397	2,885	4,531	10,517
(売上高比率)	3.23%	7.60%	8.90%	12.43%	8.61%
経常利益	782	2,383	2,926	4,413	10,504
(売上高比率)	3.59%	7.56%	9.03%	12.11%	8.60%

# 質実剛健なB/S

## 主要貸借対照表増減(連結)

(百万円)	2004年3月期	2005年3月期		(百万円)	2004年3月期	2005年3月期	
	通期実績	通期実績	増減		通期実績	通期実績	増減
資産の部				負債・資本の部			
流動資産	55,575	63,699	8,123	流動負債	14,336	22,742	8,405
現金預金	15,968	12,775	-3,193	買掛金	6,466	8,199	1,733
売掛債権	20,352	27,765	7,413	一年以内長期借入金	2,584	5,084	2,500
在庫	17,621	21,069	3,448	未払金	3,373	4,496	1,123
その他	1,634	2,090	456	その他流動負債	1,913	4,963	3,050
固定資産	66,589	71,931	5,342	固定負債	20,857	16,290	-4,567
建物・構築物	25,668	26,972	1,304	長期借入金	17,792	12,708	-5,084
機械・設備	7,013	7,633	620	その他固定負債	3,065	3,582	517
土地	20,886	21,672	786	少数株主持分	59	156	96
その他固定資産	13,022	15,654	2,632	資本合計	86,911	96,442	9,530
資産の合計	122,165	135,631	13,465	負債・資本の部合計	122,165	135,631	13,465
(換算レート 1US\$=)	(¥105.64)	(¥107.32)		(換算レート 1US\$=)	(¥105.64)	(¥107.32)	
( 1EURO=)	(¥128.79)	(¥138.75)		( 1EURO=)	(¥128.79)	(¥138.75)	

長期借入金は着実に減少。利益・手元現預金にて、運転資金増加・固定資産増加に十分対応

# 潤沢な営業キャッシュフロー

## キャッシュフロー計算書(連結)

(単位:億円)	2004年3月期	2005年3月期
	1年間	1年間
営業活動によるCF	45	69
投資活動によるCF	-36	-70
財務活動によるCF	69	-24
(現金同等物の換算差額)	-1	-1
現金及び同等物の増加額	77	-27
現金及び同等物の期首残高	84	160
(連結除外に伴う増減)	-1	-5
現金及び同等物の期末残高	160	128

# 改善される各指標

## 回転期間・自己資本比率推移(連結)

(月数)	2004年3月期	2005年3月期	
	通期実績	通期実績	前期末比
売上債権回転期間	2.79ヶ月 →	2.73ヶ月	-0.06ヶ月
棚卸資産回転期間	2.42ヶ月 ↘	2.07ヶ月	-0.35ヶ月
仕入債務回転期間	0.89ヶ月 →	0.81ヶ月	-0.08ヶ月
固定資産回転期間(有形)	7.75ヶ月 ↘	5.88ヶ月	-1.87ヶ月
借入金回転期間	2.79ヶ月 ↘	1.88ヶ月	-0.91ヶ月
自己資本比率	71.14% →	71.11%	-0.03%

業容拡大の中、在庫・借入金等の指標が改善。

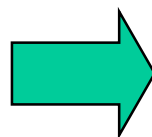
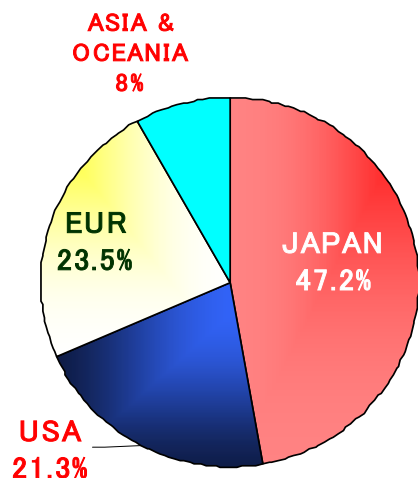
# 為替変動に強い体質

## 地域別売上高・比率

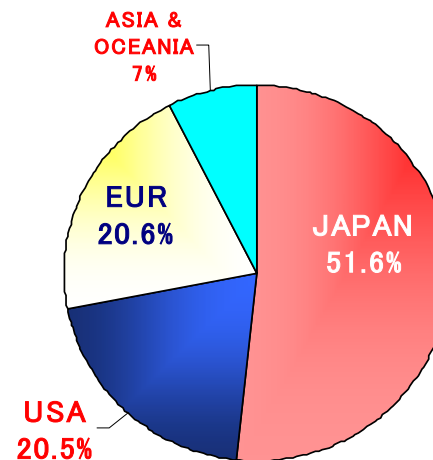
(百万円)	JAPAN	USA	EUR	ASIA & OCEANIA	合計
2005年3月期 通期	63,021	25,034	25,108	9,004	122,166
売上高 2004年3月期 通期	41,322	18,619	20,589	7,027	87,557
増減率	52.5%増	34.5%増	21.9%増	28.1%増	39.5%増

※セグメント: 海外売上高ベース

2004年3月期 通期



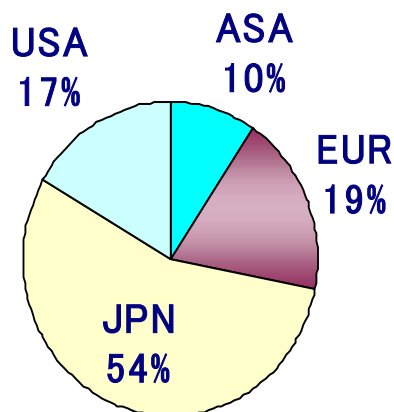
2005年3月期 通期



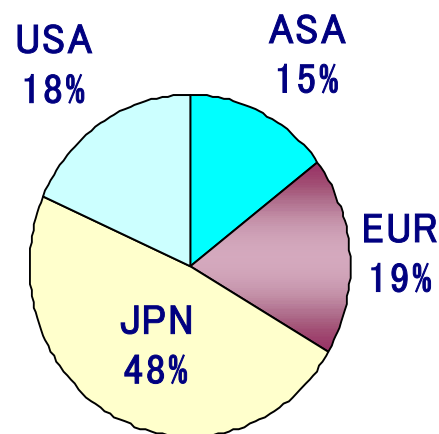
# 日本売上54%のうち、 5%がアジア、1%が米州据付

本体機械販売・据付分布 (2004年4月～2005年3月実績)

## 売上金額構成比



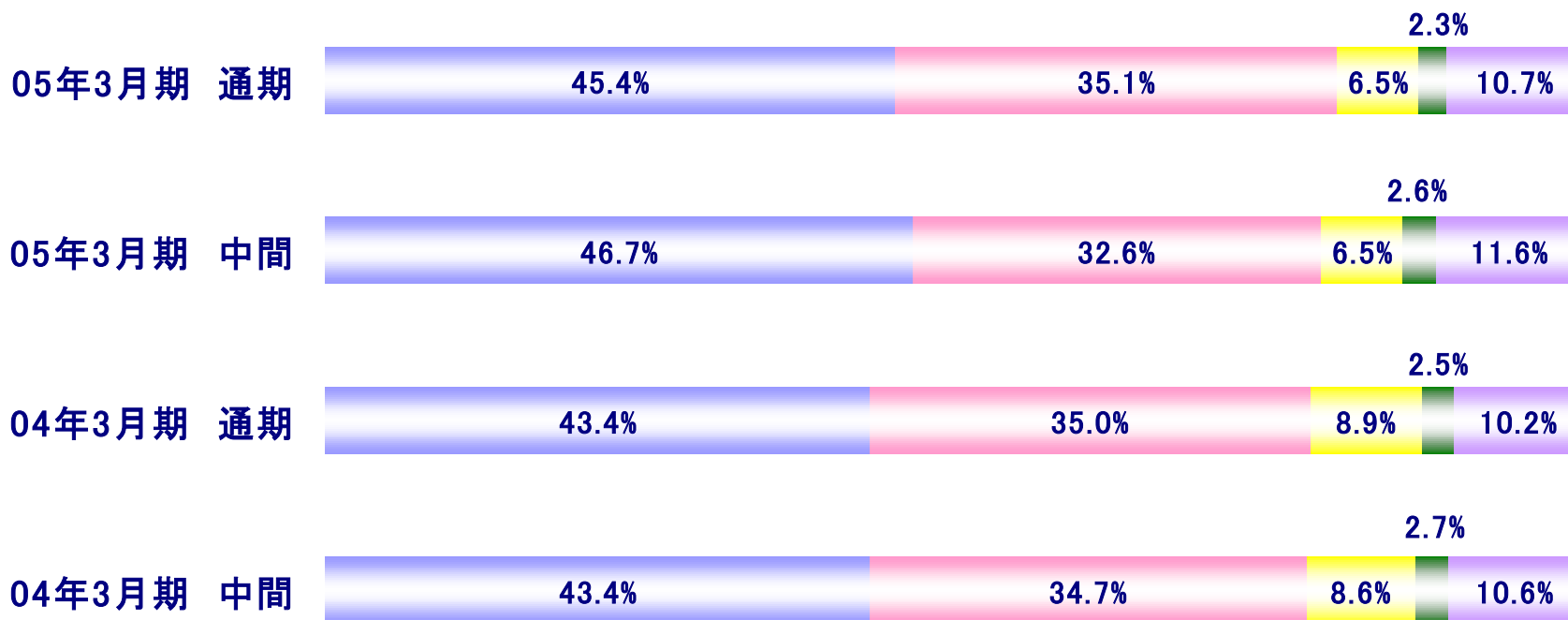
## 据付金額構成比





# NLシリーズの売上好調（CNC旋盤増加）

製品別売上高比較(連結)



□ マシニングセンタ □ CNC旋盤 □ 複合加工機 □ 研削盤 □ パーツ・サービス他

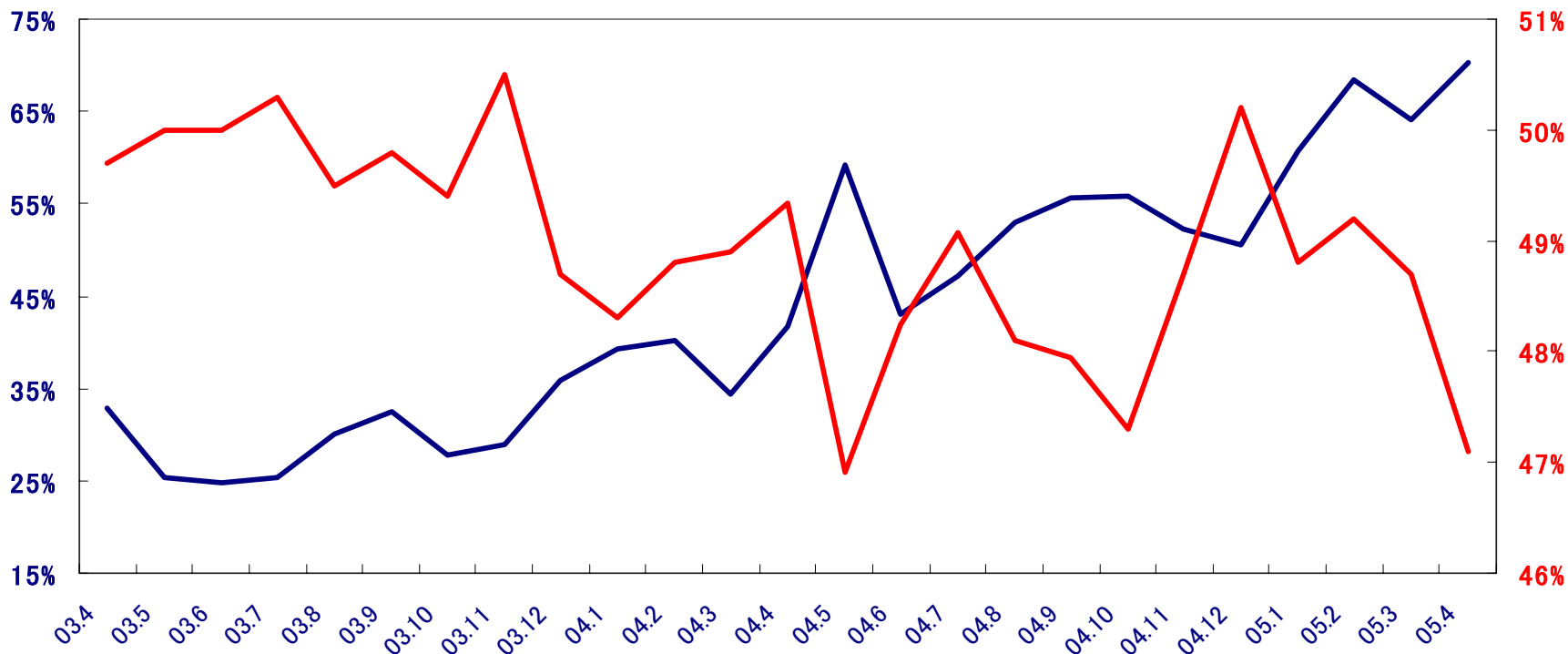


# Nシリーズによる原材料比率低減効果

青線: 売上高全体に占めるNシリーズの売上の割合    赤線: 売上高材料比率

売上高Nシリーズ比率

売上高材料比率

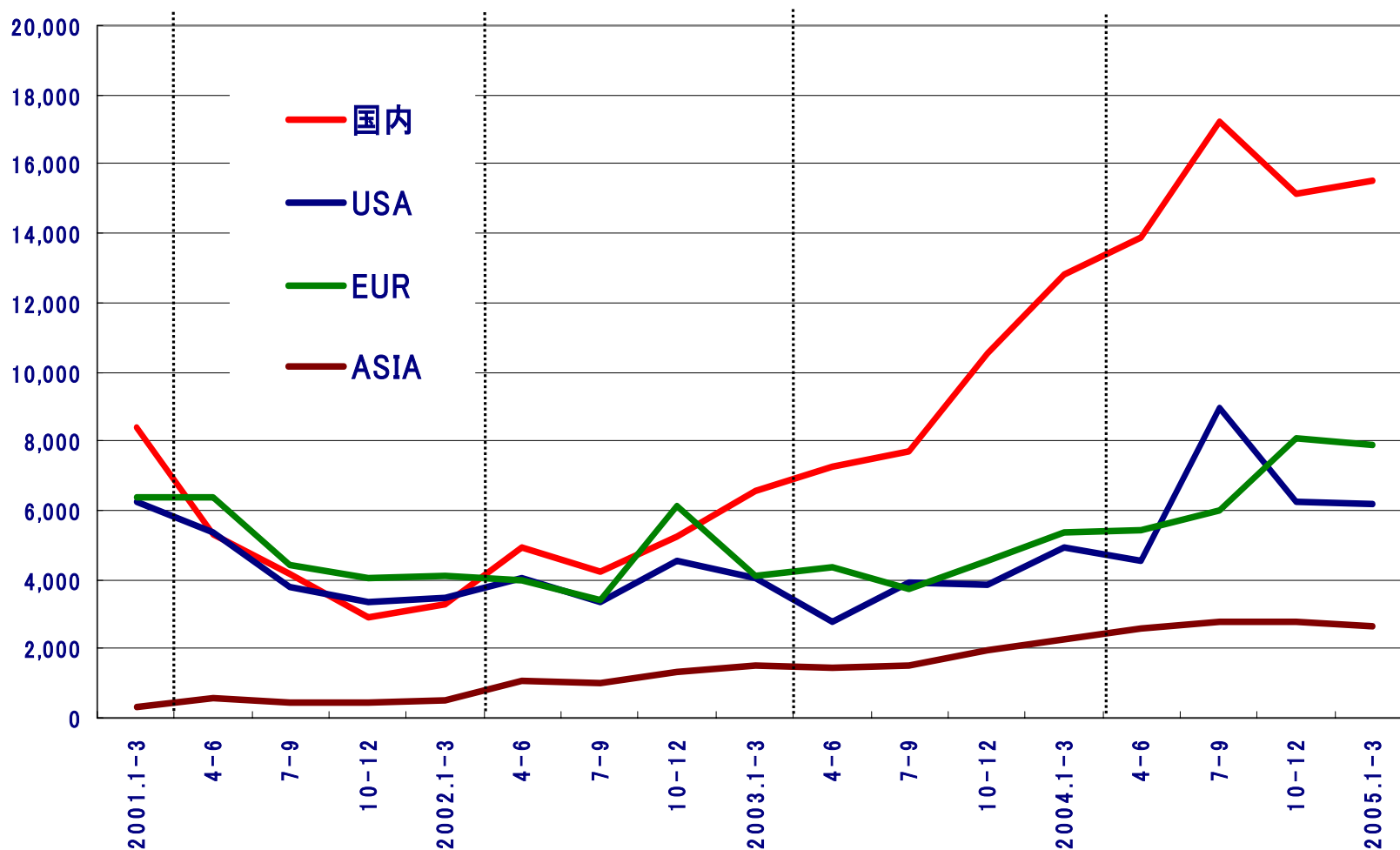


4月(速報値)

# 国内が大幅増、海外も堅調

## 地域別四半期毎受注金額推移

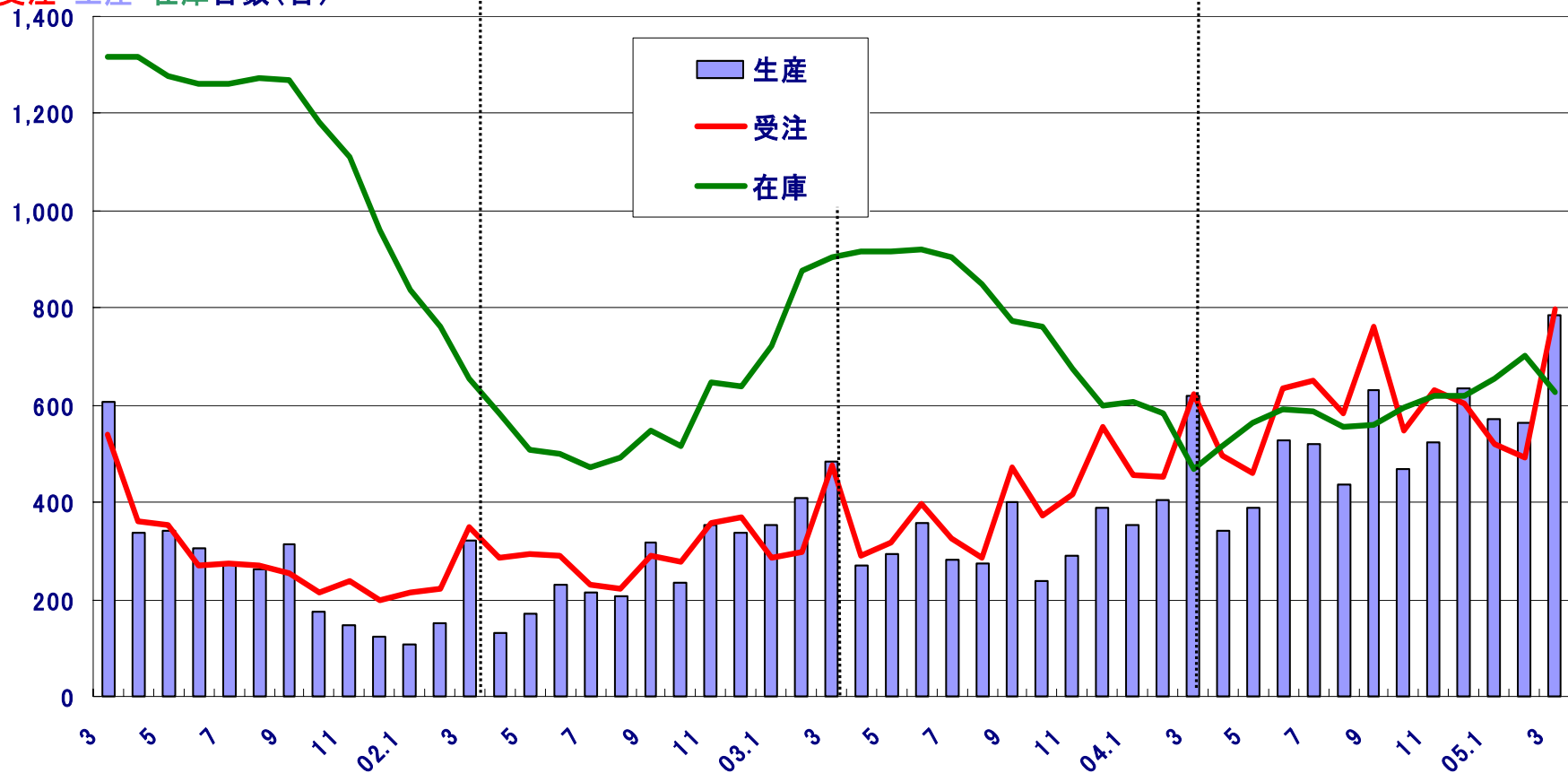
受注金額(百万円)



# 生産・受注・在庫のバランスを維持

## 生産・受注・在庫台数推移

受注・生産・在庫台数(台)





## 2. 2006年3月期 通期連結業績予想

### 中期計画を着実に進め、業績拡大

- 売上高 8.0%、営業利益で 14.1%の増加を見込む
- シェア拡大(特に欧州)
- Nシリーズ化・原価率低減へ取組
- 生産能力増強(集中的設備投資)

# 今期も増収増益基調続<

2006年3月期 通期連結業績予想

(百万円)	2005年3月期		2006年3月期	
	通期実績	通期予想	前期比 (通期)	
売上高	122,166	132,000	8.0%増	
営業利益	10,517	12,000	14.1%増	
経常利益	10,504	11,850	12.8%増	
税引前利益	10,004	10,390	3.9%増	
当期利益	9,381	9,600	2.3%増	
(換算レート 1US\$=)	(¥107.58)	(¥107.00)		
(1EURO=)	(¥135.68)	(¥128.00)		

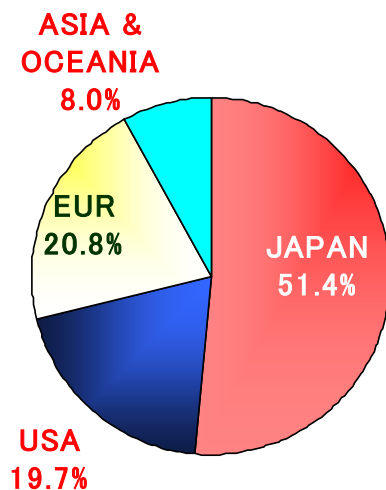
# 欧州・アジア中心に売上伸長を計画

## 地域別売上計画

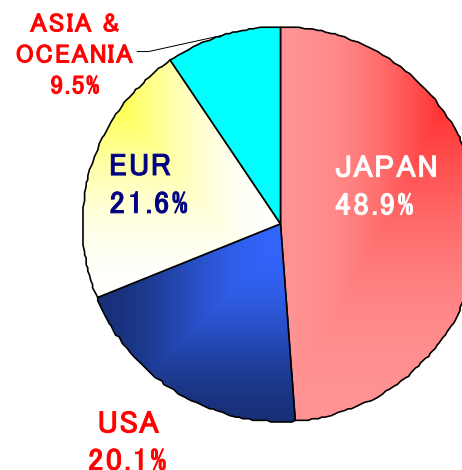
(百万円)	JAPAN	USA	EUR	ASIA & OCEANIA	合計
2006年3月期 通期	64,500	26,500	28,500	12,500	132,000
売上高 2005年3月期 通期	62,849	24,118	25,443	9,756	122,166
増減率	2.6%増	9.9%増	12.0%増	28.1%増	8.0%増

※セグメント: 担当販売拠点ベース

2005年3月期 通期



2006年3月期 通期





# Mori-568PLAN

## 2008年3月目標

Mori-5: 世界受注シェア**5%**

Mori-6: 連結売上原価率**60%**

Mori-8: 月産**800**台生産体制の確立

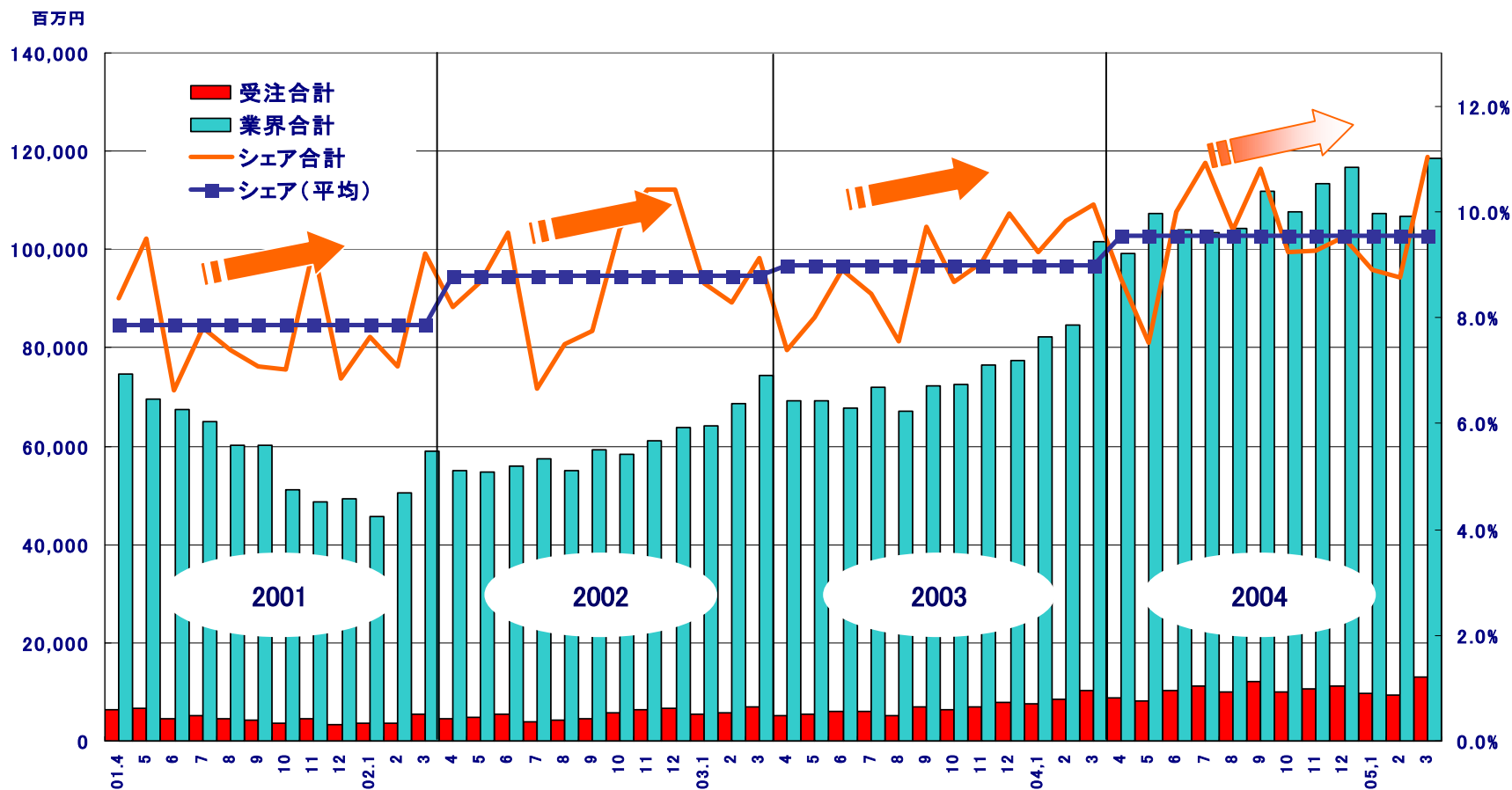


# Mori-5

- ・欧州・アジア地域における人員の増強による販売力強化。
- ・販売・サービス網の一層の拡充。
- ・業種別、顧客別の営業チームの編成。

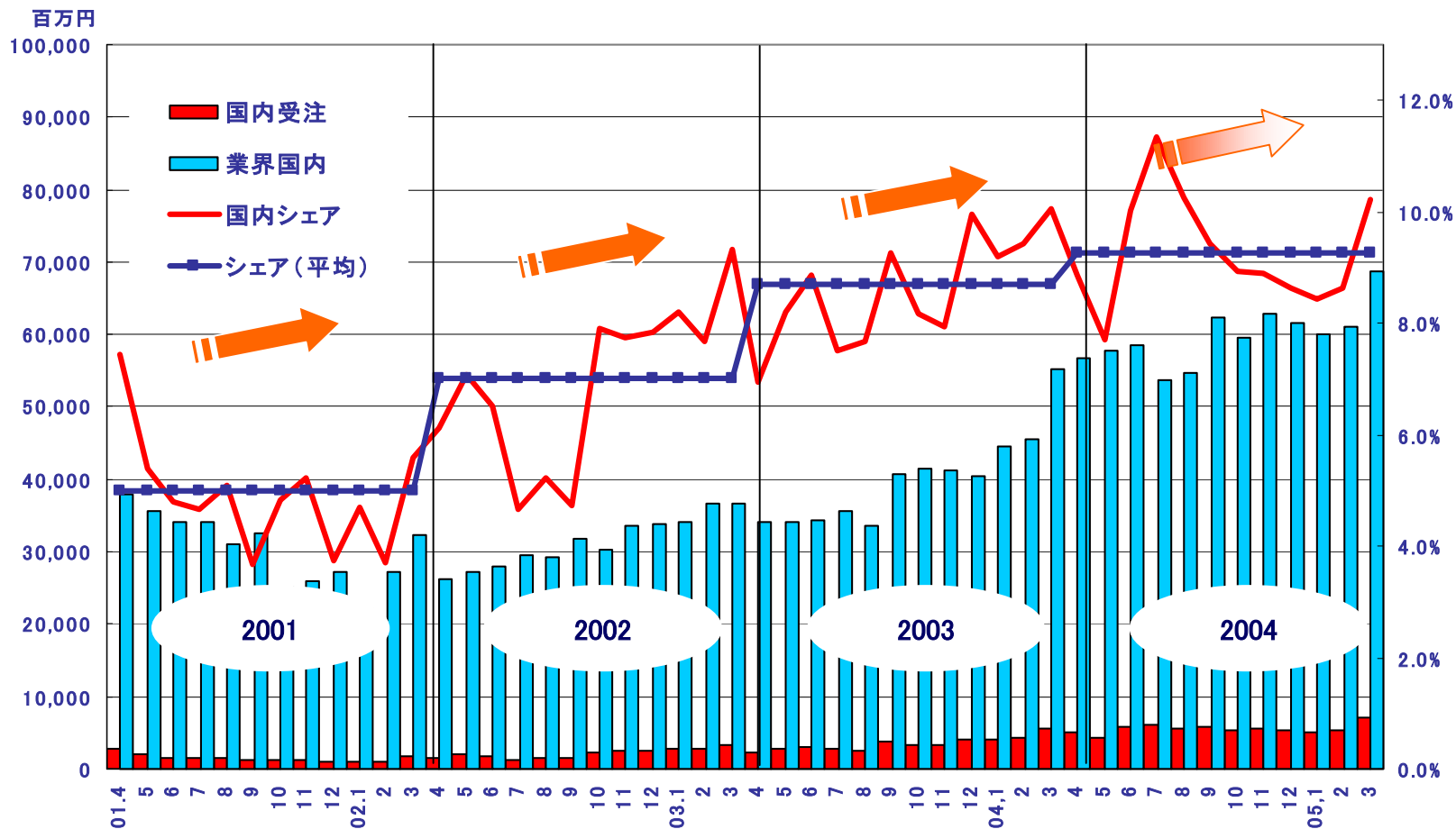
# 順調にシェア拡大中

## 日工会シェア推移(全体)



# 国内シェア2倍弱に増加(2001年度比)

日工会シェア推移(国内)



# パリ・空港近くに欧州営業の新拠点





# 営業人員増強

現在

2007年度

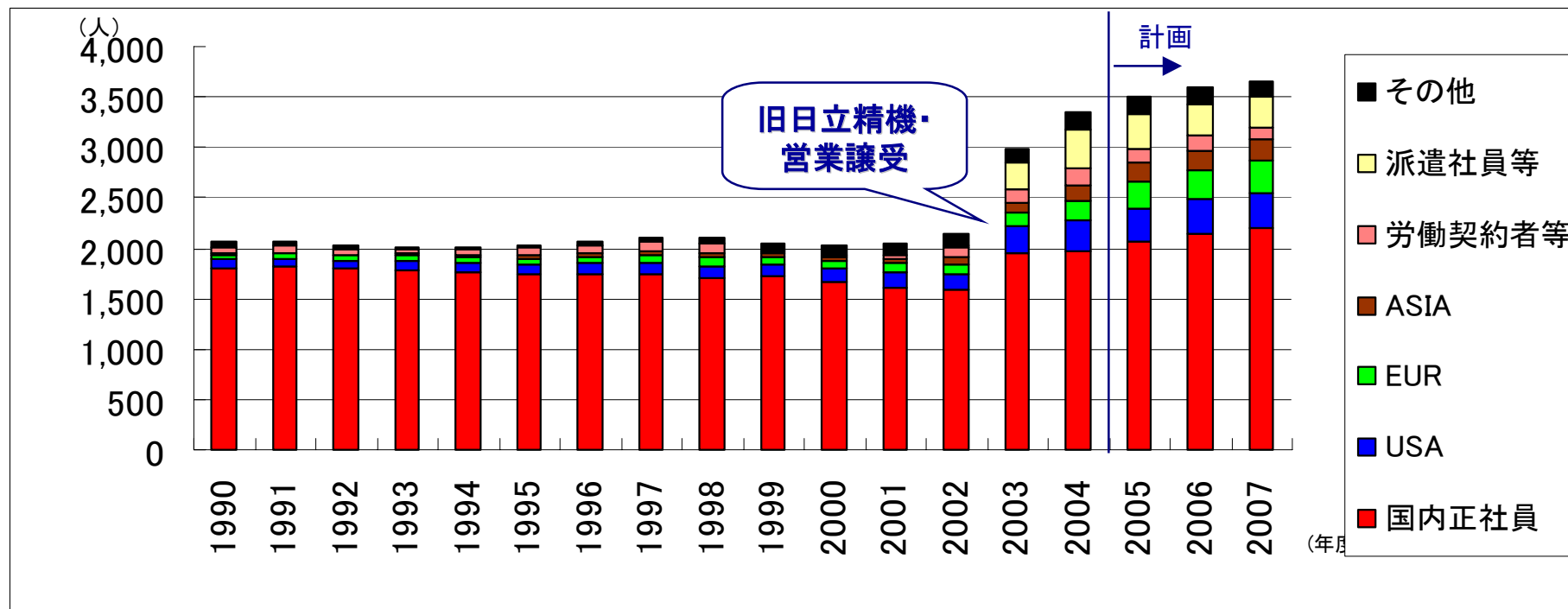
欧州 約180名⇒ 約300名

アジア 約130名⇒ 約200名



# グローバル・ワン達成へ向け 人材に積極投資

## 人員の推移（1990年以降）





# Mori-6

## 1. 原材料費逕減。

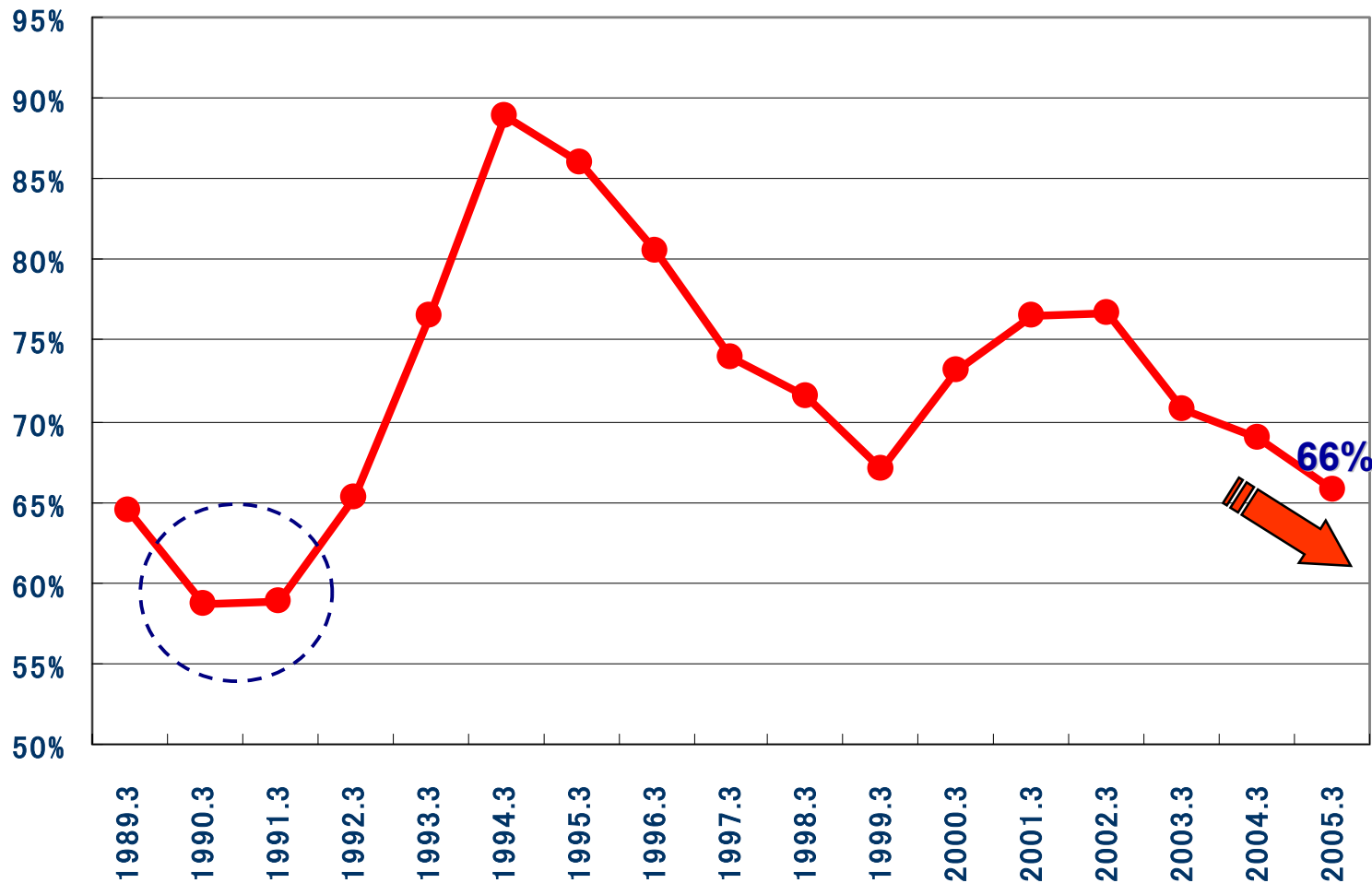
- ・内製化拡大(鋳物試作工場、熱処理工場、新設備機械投入)
- ・新機種投入による合理化(Nシリーズ率)
- ・周辺機器の標準化

## 2. 一人当たりの生産性向上。



# 売上高原価率 目標60% (2008年3月期)

連結会計データ 売上高原価率推移



# 熱処理工場を伊賀工場内に建設



# 戦略商品の投入 (Nシリーズ)

- ① **NL**
- ② **NV1500 DCG**
- ③ **NX**
- ④ **NT**



# Mori-8

- ・千葉工場の増強による増産効果。
- ・設備増強による加工能力向上。
- ・セル生産機率の増加（Nシリーズ率）。
- ・サプライヤを巻き込んだSCM戦略。



千葉事業所 ショールーム(昨年度完成)



ありがとうございました

